

公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

2018年

ホームページへGo!→  
スマホで教室だよりが見れます



教室だより2月号

### 恵方巻

節分といえば「鬼は外！福は内！」と言いながらの豆まきを思い出しますが、近年「恵方巻」を取り入れるご家庭が増えているようです。もともとは大阪を中心にした地域で「節分の丸かぶり寿司」と称されていたローカルな習慣を「恵方巻」と名づけ、一気に全国区にするきっかけを作ったのは広島でセブンイレブンの店舗を運営されている大阪出身のオーナーだったようです。(その6年前に、大阪と兵庫でコンビニとして初めて「丸かぶり寿司」を販売したのはファミリーマートだったようですが・・・)

2016年の節分はセブンイレブンだけで約664万本を販売したそうです。「恵方巻」という名称は昔からあったのではなく、セブンイレブンが販売している商品名だったんですね。

ある調査会社のアンケート集計によると、各家庭で節分に予定している行事は「豆まき」、「豆を食べる」、「イワシを食べる」をおさえて、「恵方巻」が第1位でした。また、「豆まき」と「恵方巻」のふたつを取り入れるというよりも、どちらか一方をする傾向が強いようです。

このようにして、昔ながらの習慣というのも企業やメディアの影響等で時代とともに変わっていくことがあるんですね。ちなみに皆さんのご家庭では、どのように節分の日を過ごされますか？

### 公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

#### “確実に読解力を高め本を読めるようにする学習”

日本語はふだん使っている言語ですから、文字が読めれば、文章も理解できるような気がします。しかし、実際はそんなに甘くないことは、みなさんが学校のテストなどで体験されていることでしょう。必要なのは、語彙力や文型力を土台とした読解力なのです。とはいえ、世間ではこの読解力というものは、自然に身につくのを待つしかないものと思われるようです。

しかし、決してそんなことはありません。公文式国語は、文の主語と述語をつかんで文意を理解し、文と文の関係を確かめ、少しずつ長い文章を要約できる力をつけていく学習をすることによって、子どもの読解力のレベルを効率良く向上させます。その結果たくさんの本を読めるようになります。そして、豊富な読書によってたくさんの言葉に出会わせて語彙も豊かにします。

公文式国語は、読解力を確実に身につけ、本好きになれるように、教材にきめ細かな配慮がなされ無理なく学習していけるようになっているのです。

### 2018年2月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 <small>休会日</small>	12 <small>休会日</small>	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

本市場教室日□

横割教室日△

#### 保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

1月分の会費引き落としは1月29日(月)です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は

固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願ひます。

\*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

## \*ゆき子の一言コラム

### 人のせいにしない

子どもが勉強できないことを人や環境のせいにしてしまうことがあります。しかし、それでは本質的には、何も解決しません。そういう親や大人の態度は、子どもにも影響を与え、言い訳ばかりの子どもが育ちます。

少し前の時代なら、言い訳をしようものなら、父親が烈火の如く怒り、鉄拳制裁があった家庭も多かったのです。それはまた、子どもの心をゆがめてしまう、悪しき慣習でした。しかし昨今では、逆の振り戻しが起こっています。

「だって先生の教え方が悪いんだもん」

そんな子ども責任転嫁を聞くやいなや、すぐさま学校や教師に抗議したり、訴えたりするような風潮です。

子どもが先生の悪口を言え、それをたしなめ諭さなければならぬところを、親子して一緒になって、先生の悪口を言います。確かにいろいろな先生がいますし、子どもとの相性が良くない先生もいるかもしれませんが。

しかし、そういう状況においても、自分できちんと勉強している子どもはいるのです。先生のせいにしたところで、勉強はできるようになりませんし、ますます先生との信頼関係は失われてしまいます。確かに影響力は大きいですが、先生は絶対ではありません。学校が悪い、環境が悪い、友だちが悪い、先生が悪い…というように、できない原因を探そうとすれば、いくらでもあります。しかし、そんな時、ふと思いとどまってください。

「本当はどうなりたいのですか？ 子どもをどう育てたいのですか。子どもにどうなって欲しいのですか？」

子どもができないことの言い訳をしたならば、それをやめさせなければなりません。子どもが安易に人のせいにしたならば、子どもの努力不足を叱らなければなりません。

母親が教師の批判を始めたら、父親はたしなめなければなりません。家庭で、学校や先生の批判を子どもに聞かせてはいけません。大人が人のせいにしたならば、必ずや子どもは真似をします。自分が努力しないことへの言い訳にします。人間は、時に、どうしても怠け心が芽生えるからです。

「先生が宿題を出さないから、うちの子どもが勉強しないんです」

「せっかく宿題をやったのだから、ちゃんとコメントを入れてください。子どものやる気がなくなります」

「持ち物一覧表を書いて印刷して配ってくれないから、うちの子は忘れ物をするんです」

「教科書が学校でなくなったんだから、新しいものを準備してください」

勉強は自分です。まわりがどんな状況であれ、人がどうであれ、自分自身が研鑽を積んでゆくものなのです。

それを忘れてはいけませんし、そのように子どもに教えてゆかねばなりません。

また子どもにそのようなことを教育するのは、親の義務だと思います。

## 2月無料体験学習のご案内

### 保護者の皆様へ

いつもお子さまの公文式学習をあたたく見守っていただき、ありがとうございます。

さて、公文式教室では、下記の通り「2月無料体験学習」を実施いたします。

公文式学習で自分から学習することは、お子さまの可能性を大きく広げることとなるでしょう。この機会に、日頃学習していない他の教科にチャレンジしていただきたいと思っております。

入会を検討されているご兄弟・姉妹の方がいらっしゃいましたら、ぜひ無料体験学習にご参加ください。

また、お知り合いの方へ公文式学習をご紹介いただければ幸いです。ともに学習する存在は子どもたちにとって大きな励みとなります。

### ★ 2月無料体験学習のご案内 ★

学習期間： 2月15日（木）～2月28日（水）

期間中、2週間で計4回、公文学習を体験していただけます。

費用は無料ですので、お気軽にご参加ください。

**教室は午後7時に終了します。学習に要する時間を逆算して来てください。**

**また、できる限り学習日には、学校が終わったらすぐ来るようにしてください。たっぷり遊んでからでは、勉強に集中できません。**